

地域公共交通総合研究所 第4回シンポジウム 2016.8.10

「地域の足を守り、元気なまちにするには今なにをすべきか？」

みんなで作る 地域交通と地域づくり ～岩手の現場から～

若菜 千穂

いわて地域づくり支援センター

wakana_2005@iwa-c.net <http://iwa-c.net/>



センター紹介

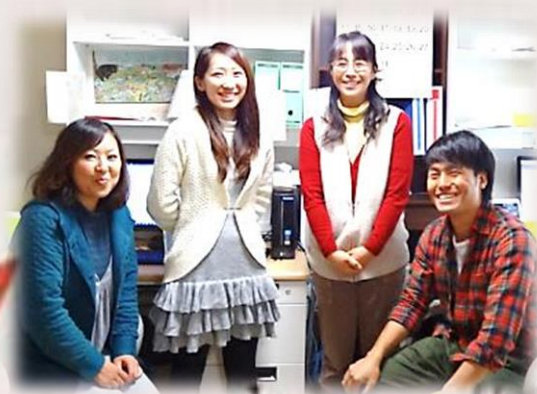
■ センターの概要

- 岩手大学農学部教授広田先生が代表理事
- 平成17年設立
- 専従職員3名
- **中間支援型のNPO法人**
- ワークショップ等に岩手大学の学生が多数参加



■ 主な仕事

- ①農山村地域の地域づくり支援
- ②政策提言、調査
 - ・ 公共交通(路線バス)の計画、調査等
 - ・ 協働のあり方
- ③被災地支援



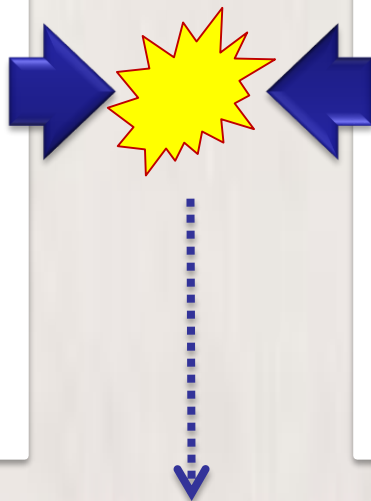
1. はじめに

■ 交通分野 ■

- 交通不便地域では、バスの廃止、撤退のみならず、**タクシー廃業**も相次ぐ。
- 家族や親せきによる送迎に頼ってきたが、家族や親せきも高齢化。

■ 地域づくり分野 ■

- 小学校区域を基準とした住民自治の再編・強化の動き(**地域運営組織**)が広まっている。
- 地域運営組織による**地域の課題解決**として、高齢者の送迎に取り組む事例がみられるように。



「**空白地有償運送**に
チャレンジしてみたい！」

実践事例と途上の事例の紹介
意義と課題







共助による交通手段導入ガイドライン

～公共交通空白地有償運送の導入に向けて～

平成 28 年 3 月

岡 山 県



1. はじめに

【従来の路線バスもタクシーも頼れないようなところ】
「住民参加」や「協働」とか言われているけど、どうして
そんなことしなきゃいけないの？

そんなことできるの？

どう進めればいいのか？



- 1 . 住民が主体的に関わった交通事例の紹介
- 2 . 協働パートナーとしての“住民の組織化”の説明
- 3 . 現在進行形の空白地有償の課題・壁



2. 地域交通×地域づくりの事例①

■ 岩手県北上市口内地区

- 人口1500人、高齢化率37%
 - 小学校、中学校は閉校
 - JAスーパーも撤退
 - バスの減便、短縮
- ↓
- 住民自治組織がNPOを立ち上げ、**空白地有償運送**を開始(平成22年)
 - ・ 実験半年→**交渉1年半**→本格運行



NPO法人くちない

町内輸送サービス ご利用ガイド

こんな時にご利用できます

- 自宅からバス停まで
(またはバス停から自宅まで)行きたい
- 町内のお友達の家に行ってお茶したい
- ふれあいデイサービス(公民館)に行きたい
- 郵便局や農協ATMに行きたい
- 診療所に行きたい
- あぐり夢、店っこなど町内での買い物に
- 夏休みなど、小学校のプール通いに

〇〇診療所

☎ご登録・お申込みは☎

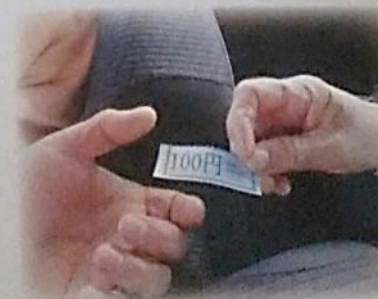
NPO法人くちない 事務所 TEL/FAX 71-4700 平日9:00~15:00

ご利用料金

町内どこでも片道100円
※年間登録料1,000円が別途かかります。

ご利用時間帯

平日7:30頃~17:30頃まで
(県交通バスの運行時間に準じます)
※土日運行については裏面をご確認ください



2. 地域交通×地域づくりの事例①

■ 空白地有償運送

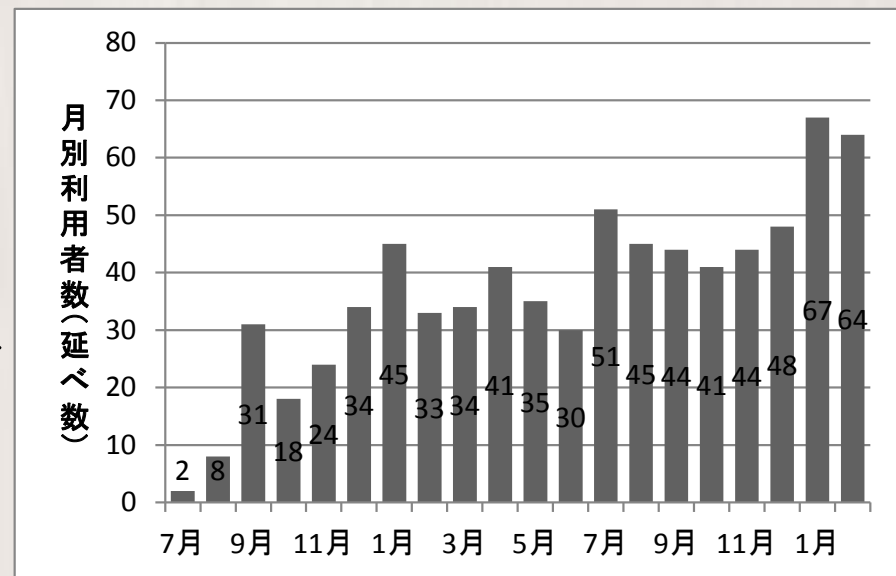
- 1回100円
- ドライバー謝礼は1人300円
- 受付はNPO事務局(店っこ)
- 地区内のみ
- 地区外へは福祉有償運送
- 利用者は増加中
- 登録ドライバーは9名、60代後半
- 利用は、通院目的でバス停まで
 - ・ 子供の利用もある。



利用状況

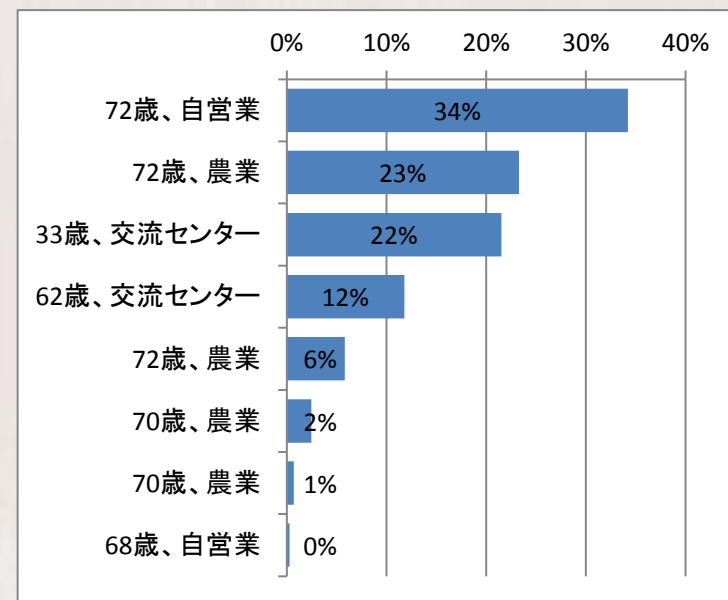
■ 利用実績

- 利用者は増加
- バス停に乗り継ぐ利用が多かったが、バスが不便になり、地域内の移動も増えてきた。
- ボランティアドライバーは高齢化が心配



■ 収支状況

- 乗合率は1人
- 1回走ると200円の赤字
- 走れば走るほど赤字が大きくなる。
- 利用が増えているので、乗合率を高める必要もある。
- 受付や間接経費は別の補助金等を充当



ボランティアドライバーの出動率

「店っこくちない」の運営

2.コミュニティストアの運営（店っこくちない開設）

平成19年

ＪＡ支店の業務が金融部門を除き撤退（7月） ストアの廃止（9月）

跡地について検討も結論出ず

平成22年

「（仮称）店っこくちない」社会実験

- ・ＪＡストアの機能の補完
 - ・独居、高齢者の集う場
 - ・日常生活機能を維持する場の確保
- 今後にも必要という要望が強く、存続決定

平成23年4月

店っこくちない正式オープン

平成24年

厨房の増設

手づくりお惣菜（火・木曜日）

ごしゅいもコロツケや餃子の販売。学童保育児の惣菜提供、グリーンツーリズムのおもてなし等



「店っこくちない」概要（26年12月リニューアルオープン）



口内の街中の様子



店っこくちないの外観

「店っこくちない」の運営

店舗名	「店っこくちない」
所在地	北上市口内町新町84番地
営業時間	月曜～金曜日9：00～17：00（冬期間は16：00まで）
営業内容	宅配サービスの実施 食品、菓子類、日用品等の販売 お客様のニーズを聞いて商品仕入れ販売 個人商店からの委託販売
その他	路線バス停とボランティア交通の結節点として待合所の機能 お年寄りの買い物おしゃべりの場所？ 農地・水 の管理業務(相談や打合せ場所) 会員や知り合いなどの、お茶のみ場所 (現在NPOの機能をここに集約化している)



NPOの事務所は「店っこくちない」の中

その他の取り組み

高齢者の生きがいづくり



自家消費用として作った農作物の余剰分や少し形の悪いものを集荷

店頭販売



惣菜に活用



手づくりお惣菜（火・木曜日）
24年度に厨房増設



陳列の様子

買い物支援サービス

店っこくちないの機能拡大

今後の展開 店舗の拡充・宅配の強化

老朽化した店舗の修繕。店舗・売り場面積の拡充。定期的お届けサービスの拡充。（「総務省暮らしを支える地域運営組織に関する研究」「公民連携によるまちなか再生事例に関する研究」の両モデル事業を実施中です）



「定期訪問で在宅高齢者の見守り強化

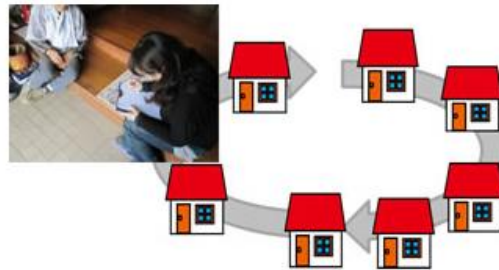
+ 品ぞろえの拡大

+ アンケートの調査結果の反映

→ 生活の不自由さの解消



高齢者宅を中心とした宅配販売強化・見守り



ひとり暮らしの高齢者の皆さま

高齢者のみの世帯でお暮しの皆さまへ

店っこくちないの 買い物支援サービス

このサービスは申込制です

かさばる物の購入に

重いものが必要な時に

その他にも必要なものがあればご相談ください。

- 1 まずは申込み
- 2 毎週1回、電話などで必要なものをお聞きします
- 3 NPOスタッフが買い物代行
- 4 翌日以降、商品を宅配します（料金は店っこくちない価格とします）

お申込み・お問い合わせはお気軽に

店っこくちない

電話番号 71-4700

（口内町新町84【旧農協ストア】）

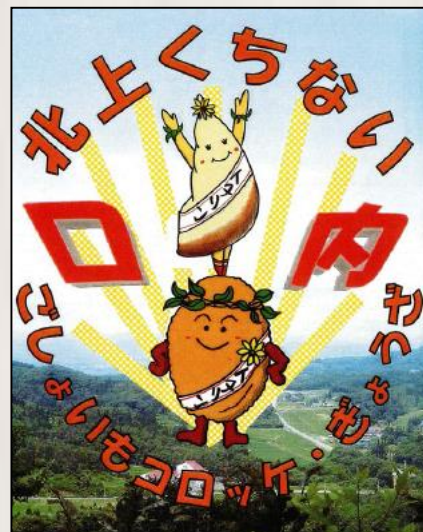
営業時間 月～金 9時～16時（土日祝休み）

高齢者の生活支援や特産品開発も

3. 高齢者の生活支援

- ・草刈り、除雪、庭木の剪定、建具修理、家廻り清掃等 頼まれたことは可能な限り引き受ける（有償）
- ・会員、町民から生活支援者を募集し、高齢者世帯や病気等で作業が困難な世帯の生活課題解決につなげる。

25年度……25件の依頼 / 26年度（12月末）……24件の依頼



～ごしよ芋コロッケ・ぎょうざ 美味しい作りかた～

【ごしよ芋コロッケ】

- ①コロッケがかわくくらい油を用意し180度に温める
 - ②コロッケを冷凍のまま入れる
 - ③中に火が通るとコロッケが浮いてくるので、何度かひっくり返し、きつね色になったらできあがり
- ※油の温度が低すぎたり、一度に大量のコロッケを入れると油の温度が下がり、パンクすることがあります。
- ※油の量が少なすぎると中が冷たいままのことがあります。
- ※コロッケを油に入れたら、周りが色づくまでさわらないのが上手に揚げるコツです。



【ごしよ芋ぎょうざ】

- ①フライパンをよく熱し、一度火をとめる
- ②大さじ1杯の油をひき、凍ったままの餃子を並べる
- ③強火で1分ほど焼き、焼き色をつける
- ④水100ccを回し入れ、すぐにふたをする
- ⑤火を中火にし、6～7分間、蒸し焼きにする
- ⑥ふたを開け、水気をとばしてできあがり
- ⑦揚げぎょうざ・水ぎょうざでも美味しく召し上がれます。

＊お問い合わせ先＊

特定非営利活動法人くちない

☎ 0197-71-4700

フェイスブックアドレス

<https://www.facebook.com/npo.kuchinai>



—くちないの豊かな自然で
育ったごしよ芋で作りました



ごしよ芋（五升芋）とは？

一般的には「菊芋」と呼ばれています。ごしよ芋とは口内（くちない）地区の昔からの呼び名です。

ごしよ芋

なぜ、ごしよ芋を使っているの？

ごしよ芋は栄養価にとっても優れています。カリウムを多く含み、ビタミン・ミネラルも豊富。そのうえ、ごしよ芋はデンプンを主体としていないため、とっても低カロリーなんです。

注目成分「イヌリン」

「イヌリン」はごしよ芋の主成分です。「イヌリン」は消化によってオリゴ糖の一種となるため、整腸作用や高血糖への効果が期待されています。

ごしよ芋ってどんな味？

食感は生姜やごぼうに似ていて、サクサクとしています。味に少しクセがありますが、そのクセを生かして美味しいコロッケ・ぎょうざに仕上げました。

～～ 商品のご案内 ～～

◎ ごしよ芋コロッケ 1袋（5ヶ入）

◎ ごしよ芋ぎょうざ 1P（12ヶ入）

※冷凍で販売しています。

まずは一度ご賞味ください。

——うめじゃ！

（美味しいよ！）



ごしよ芋の畑

2. 地域交通×地域づくりの事例②

■ 住民主体の地域づくりとお出かけの足の事例

- 岩手県岩手町豊岡地区(40世帯、高齢者世帯が半数以上)
- シベリアからの引揚者が開拓した集落…小学校も公民館も手作りした。



2. 地域交通×地域づくりの事例②

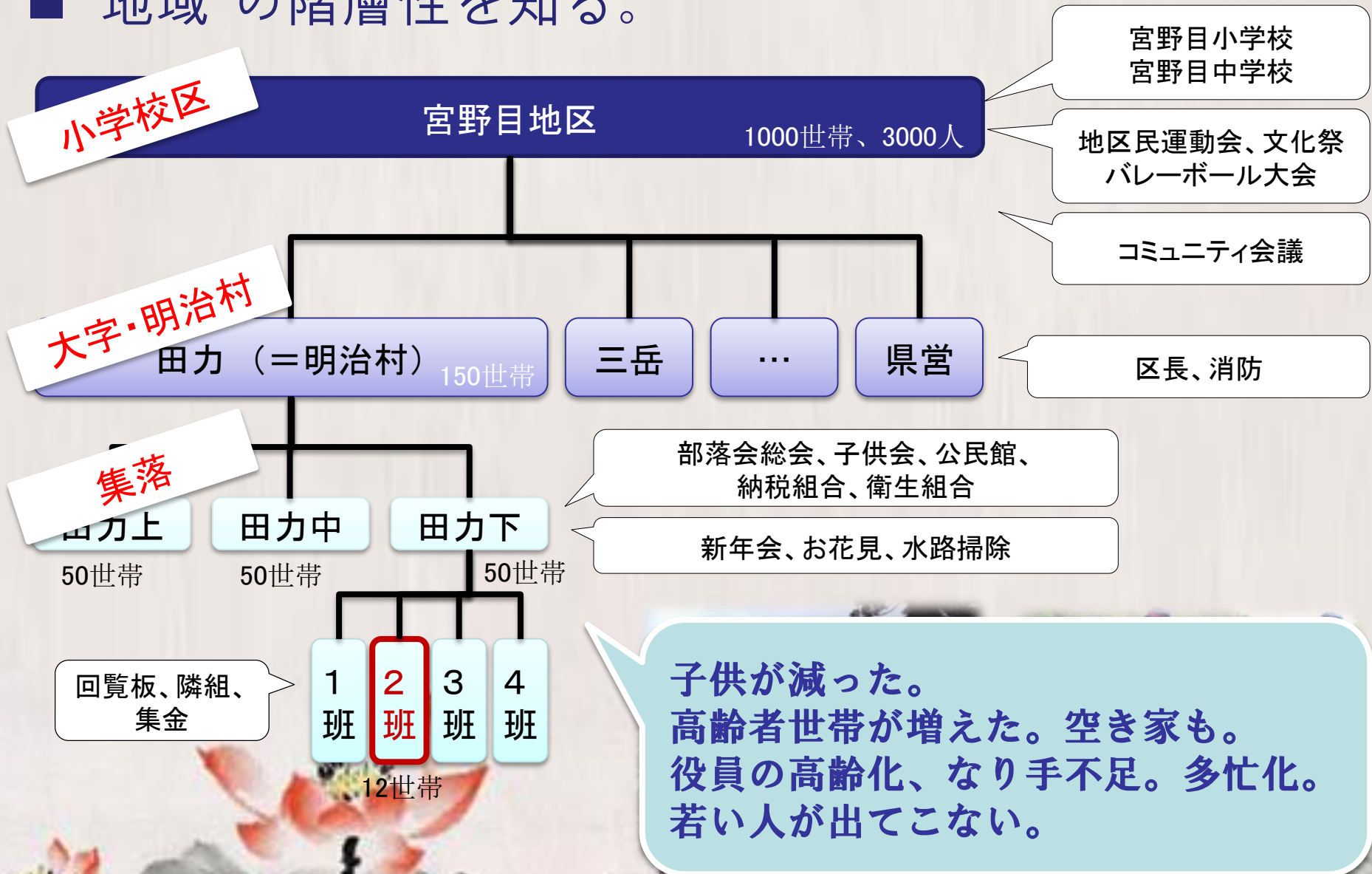
■ 住民主体の地域づくりとお出かけの足の事例

- 自治会のリーダーが中心となって、お買い物に行くためのバスをチャーター
- 料金1人往復500円＋福祉団体の助成金＋自治会からの支援で運行



3. 「住民の主体性」、「行政との協働」に必要なこと

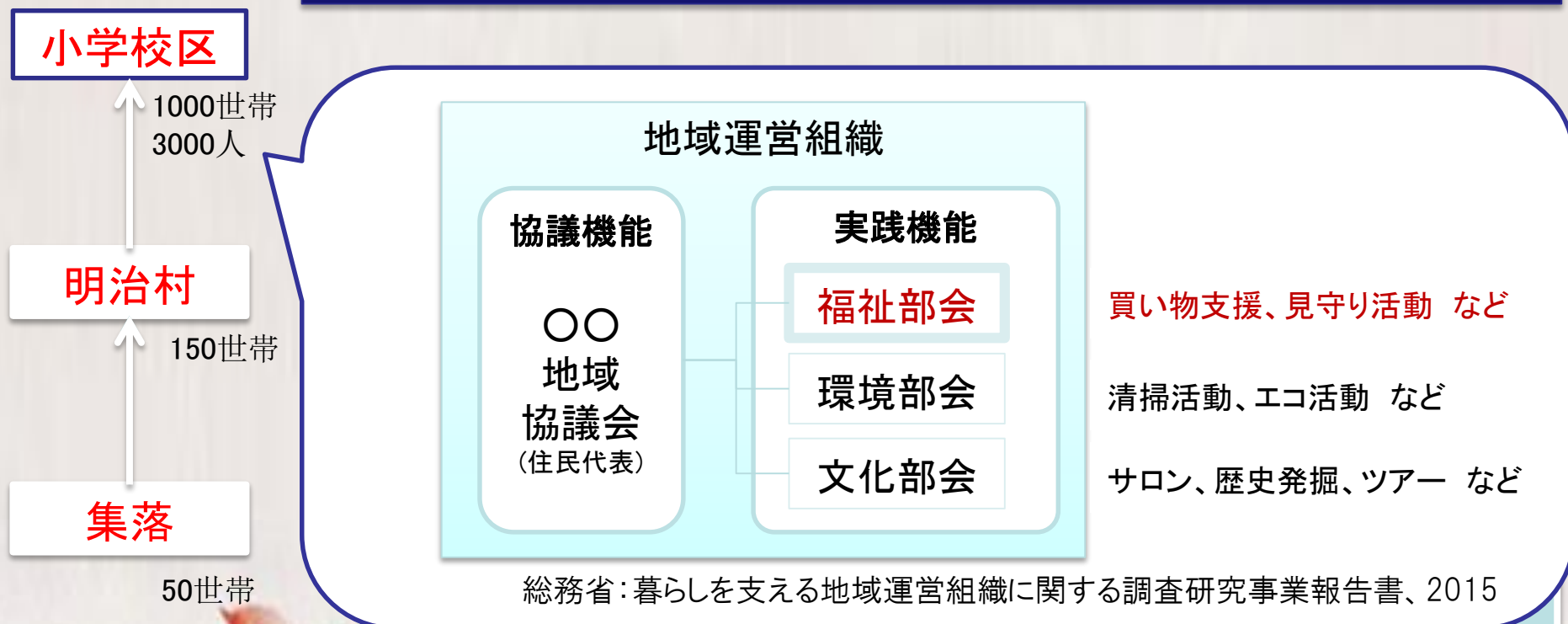
■ “地域”の階層性を知る。



3. 「住民の主体性」、「行政との協働」に必要なこと

■ 住民が合意形成できる仕組み＝組織を作る。

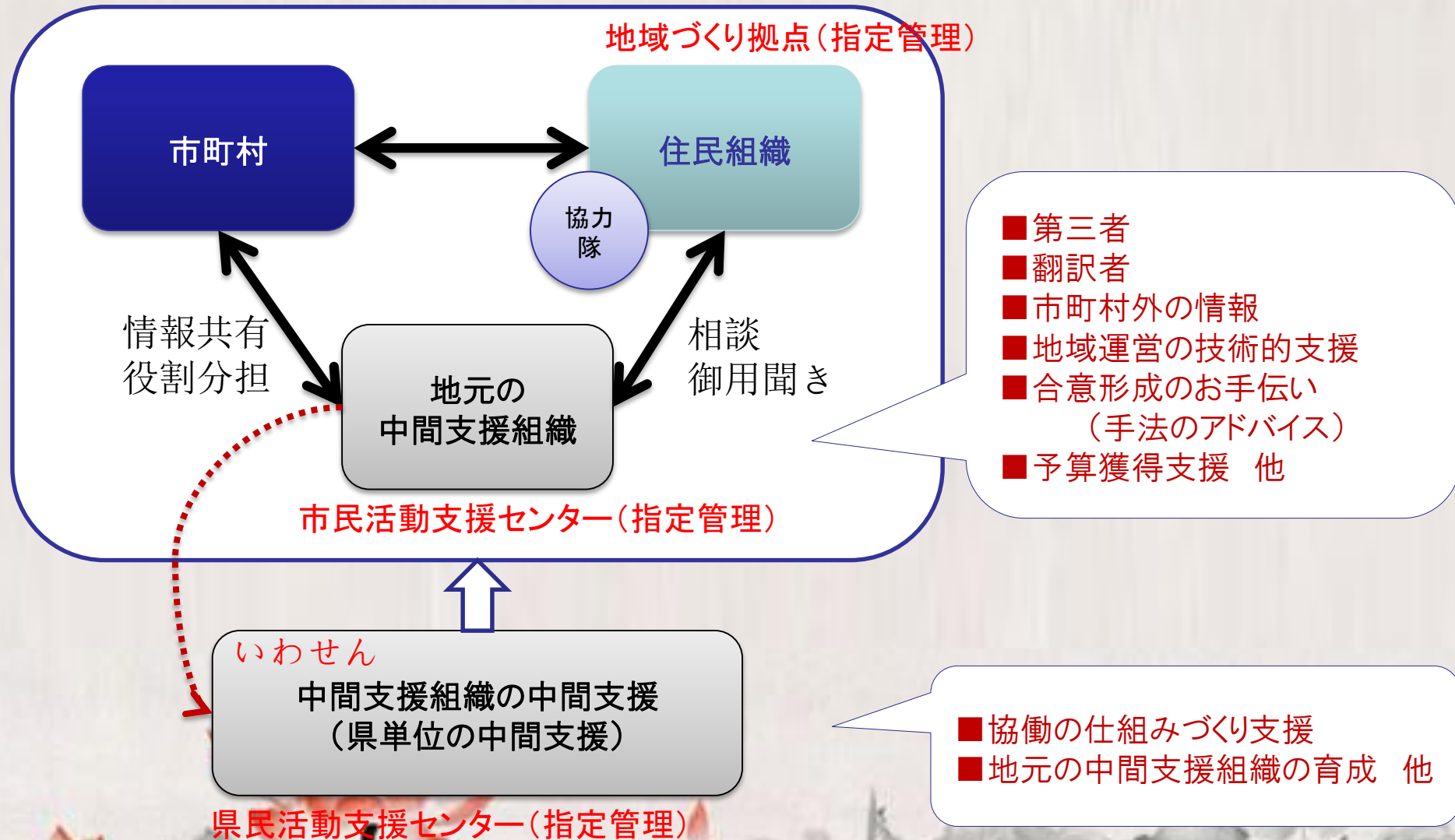
地域運営組織とは、地域の維持や活性化をビジネス的な手法を取り入れてマネジメントしていこうとする組織



役員の高齢化、なり手不足。多忙化。
若い人が出てこない。

小学校区単位の地域づくりの進め方

■ 行政との協働の形をつくる。



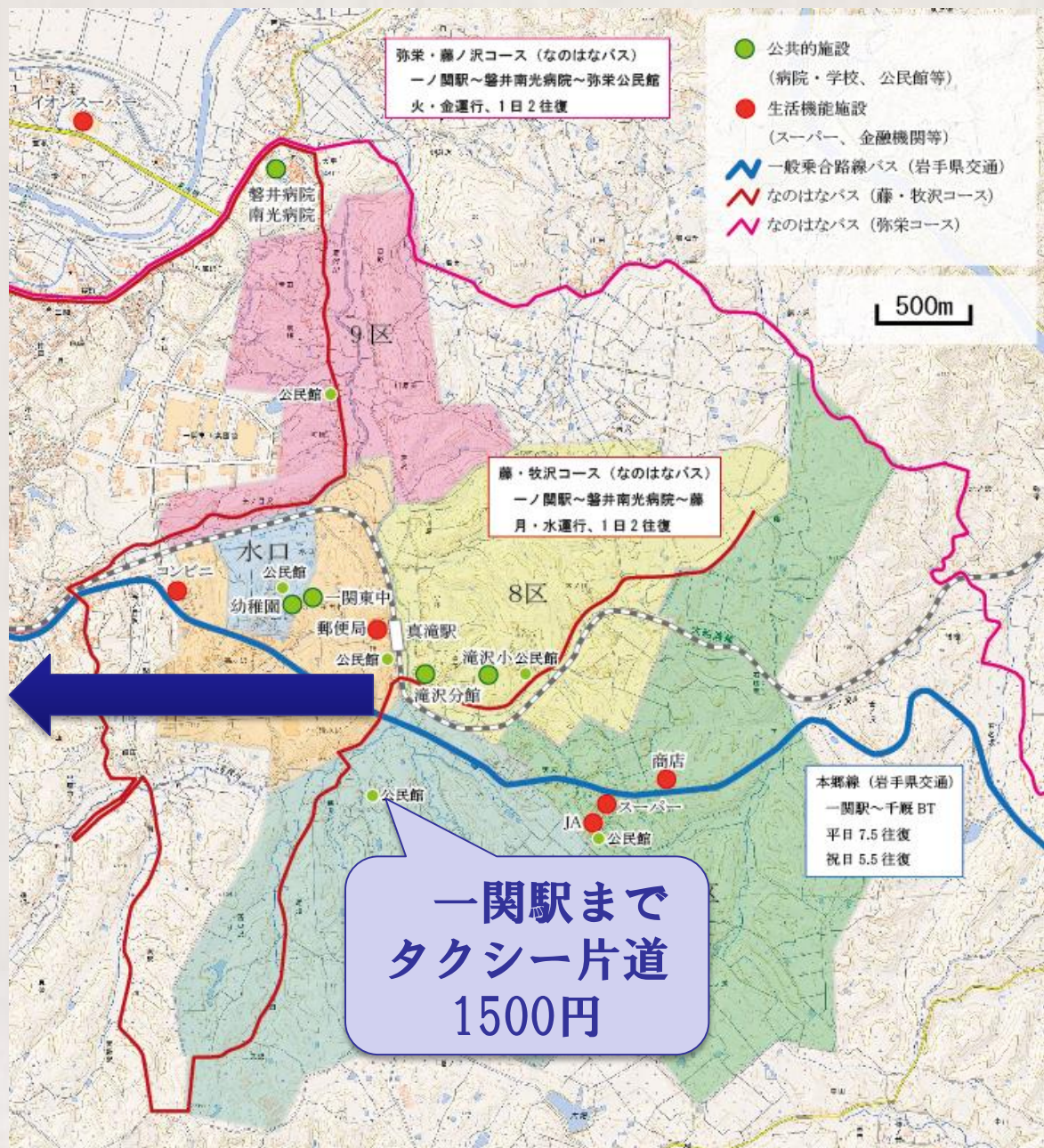
4. 現在進行形の空白地有償運送の課題・壁

■ 岩手県内 2 地区で空白地有償運送に取り組中...

項目	一関市A地区	久慈市B地区
人口(概算)	3,000人	3,000人
自治会数等	1自治会・6行政区	9町内会・14行政区
地域を包括する 住民組織	地域振興協議会	なし
検討の契機	地域づくり計画の1事業として (自治中心型プロセス)	デマンドタクシーに代わる交通手段 として (事業中心型プロセス)
検討の経緯 (平成27年度)	7月 事務局打合 9月 聞き取り調査 10月 対策検討会 11月 先進地視察 12月 対策検討会 1月 対策検討会	11月 勉強会(市) 1月 検討会(地域) 2月 先進地視察

バスもコミバスもある。
地域振興協議会が設立した
ばかり。

行政による乗合タクシーが
失敗。交通空白地だが、地域
を代表する組織がない。



公民館でのヒアリング



協議会での協議

4. 現在進行形の空白地有償運送の課題・壁

■ 制度の理解不足

- 地域や行政だけでは、何から取り組んだらよいのかわからない。
- **アドバイザー派遣や視察が有効**

■ 空白地の証明と位置づけ

- 既存事業者とのすみわけ、交渉力
- **利害関係者ではない、第三者の存在**

対！事業者

対！行政

■ 交通政策の確立と行政の覚悟

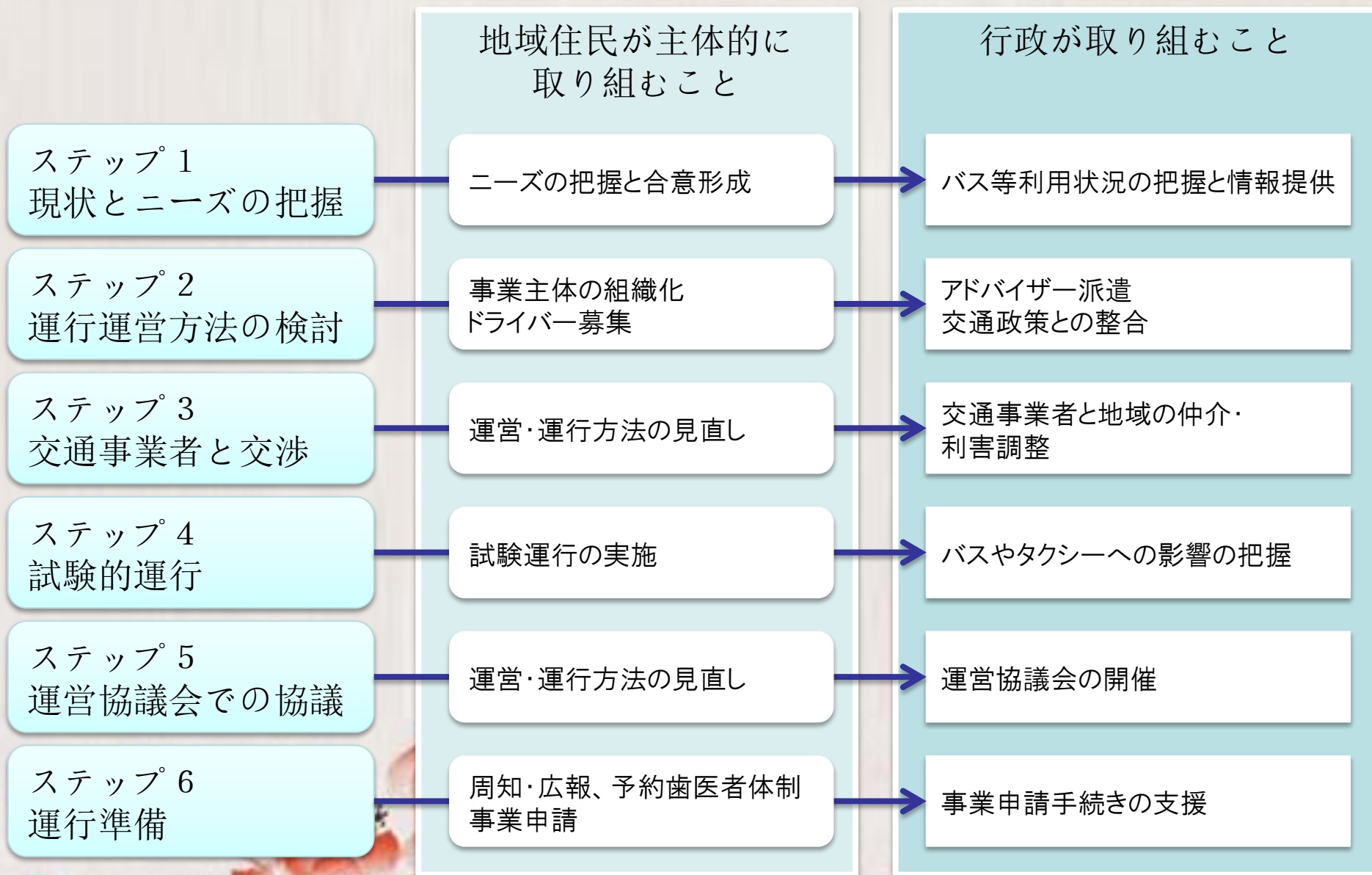
- 既存交通とのすみ分けのために、**政策的な判断と計画的プロセス**が必要

■ 地域課題としての位置づけと組織化

対！自分

- **地域代表性を備えた組織**からの依頼が必要。
- **“有償ボランティア”**の浸透

5. 課題と検討プロセス



おわりに

- 地域づくりとの一体的な取り組みが必要
- ビジネス力、マネジメント力が必要
- 交通はみんなで育てるもの
- 今の制度、施策に縛られない発想力、政策力
 - － 交通資源(車両、人)の枯渇
 - － 知恵を出し合い、時間をかけ、協力(人的ネットワーク)で乗り切る